

## 岡山大学病院長選考にあたっての本学の将来構想及び運営等の方針

令和2年10月6日  
国立大学法人岡山大学長

岡山大学は現在、長期ビジョンに示した未来のあるべき姿に向けて、国連 SDGs への貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・社会実装の全ての大学機能に反映させ、変化に強いレジリエントな大学組織の構築とともに多様なステークホルダーとの新たなパラダイムの共創に取り組んでいます。

岡山大学病院はこれまで、高度な医療の提供と次世代医療の推進、地域医療への貢献並びに優れた医療人の育成など極めて高い目標を掲げ、臨床研究中核病院やがんゲノム医療中核拠点病院など、地域・世界の医療ニーズに応えるマグネット・ホスピタルとしての重要な役割を果たしてきました。岡山藩医学館創立から150年の節目の年を迎えた岡山大学には、新たな100年を見据えた地域・世界への良質な医療の提供と先進医療への挑戦に大きな期待が寄せられています。

その中で、我が国の急速な少子高齢化と国民医療費の増加のもとでの診療報酬の改定、並びに働き方改革や高額医薬品の使用による全国的な病院経営のコストの増加が、大学病院の収益構造に大きな影響を及ぼし始めています。さらに、今日 COVID-19 をはじめとする予測不能な環境変化の出現によって、内包していた大学病院の経営的脆弱性が表出していることから、これまでの経営手法を根本から見直す必要性が生じています。

今後の大学病院経営には、より変化に強いマネジメント体制の構築はもとより、岡山大学病院の「あるべき姿」に基づく中長期的な視点で、積極的に困難な経営課題に取り組む人材を岡山大学病院長として登用することが必要です。併せて、岡山大学病院長は、本学医療担当理事に就任する者として、学長と病院経営方針を十分に共有し、学内医療系部局のみならず地域のマルチステークホルダーとの連携・協働を推進し、大学全体の経営ならびに運営に対しても積極的に参画する姿勢が求められます。

なお、所信の作成にあたっては、中長期的な岡山大学病院の診療・教育・研究などのあるべき姿（ビジョン）に基づいた経営の方向性について、課題分析と目標設定、具体的計画などについて記載して下さい。また、それに加えて下記2から4の3項目についても所信を記載して下さい。

1. 中長期的な岡山大学病院の診療・教育・研究などのあるべき姿（ビジョン）に基づいた病院経営の方向性について
2. 院内における共創型ガバナンスと、より変化に強いマネジメント体制の構築について
3. 優れた医療人の育成と、新たな医療技術や臨床研究の創出・推進について
4. 地域医療連携体制の強化の観点から、岡山医療連携推進協議会（CMA-Okayama）や多様な医療機関・団体との連携強化とその実現について

以上